

平成24年度福井県立大学大学院
経済・経営学研究科博士前期課程
入学者選抜試験問題(第1次)
専門科目

経済政策・経済史・経営学各論・会計分野

以下の問1～問5の中から1問を選んで解答しなさい。

問1 【経済政策】

科学技術が経済社会に与える影響について論じなさい。

問2 【経済政策】

東アジアにおけるFTA / EPAの進展と日本の対応について述べなさい。

問3 【経済史】

第2次世界大戦後の日本の農地制度について、次の言葉を3つ以上使って説明しなさい。

地主・小作制度 農地改革 自作農体制 農地法改正

問4 【経営学各論】

以下の問題のうち、いずれか1題を選び、解答せよ。

1. 今日の経営戦略において、環境との適合性でとくに大きな問題となることにはどのようなことがあるか。自らの知るところや考えを述べよ。
2. マーケティングでいうSTPとは、どのようなことか説明せよ、また、それは経営的にみてどのような意味があるかについてもふれることが望ましい。
3. 企業経営において人と組織のあり方はきわめて重要なことである。では、今日の企業をとりまく情勢の下で、人と組織のあり方には、どのようなことが要請されているか。より具体的には、組織成員にやる気を出させ、企業に成果をもたらすには何が必要か。また、企業側としては、実際にどのような方策をとっているか。これらについて、自らの知るところや考えを述べよ。

問5 【会計学】

以下の(1)、(2)のうち問題のうち、いずれか1題を選び、解答せよ。

- (1) 最近、包括利益計算書が話題になっているが、その理由を考察しなさい。
- (2) 通常、製造部門は原価で管理されることが多いとされているが、利益で管理される場合もある。両者を比較論評しなさい。